

# 四半期報告書

(第33期第2四半期)

自 平成24年7月1日

至 平成24年9月30日

株式  
会社 **フォーバル**

東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2

### 第2 事業の状況

1 事業等のリスク	3
2 経営上の重要な契約等	3
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	3

### 第3 提出会社の状況

#### 1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	5
(2) 新株予約権等の状況	5
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	5
(4) ライツプランの内容	5
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	5
(6) 大株主の状況	6
(7) 議決権の状況	7

2 役員等の状況	7
----------	---

### 第4 経理の状況

#### 1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	11
四半期連結包括利益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13

2 その他	19
-------	----

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月12日
【四半期会計期間】	第33期第2四半期（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社フォーバル
【英訳名】	FORVAL CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中島 將典
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
【電話番号】	03（3498）1541(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 加藤 康二
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区佐賀一丁目1番3号
【電話番号】	03（6826）8881
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 加藤 康二
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第32期 第2四半期 連結累計期間	第33期 第2四半期 連結累計期間	第32期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年9月30日	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高（百万円）	16,566	17,102	34,695
経常利益（百万円）	305	525	846
四半期（当期）純利益（百万円）	236	217	587
四半期包括利益又は包括利益 （百万円）	335	373	372
純資産額（百万円）	5,814	5,963	5,823
総資産額（百万円）	15,757	14,779	16,224
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	17.44	16.06	43.28
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	33.9	37.3	33.1
営業活動による キャッシュ・フロー（百万円）	356	679	1,331
投資活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△107	△121	△195
財務活動による キャッシュ・フロー（百万円）	△604	△666	△815
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（百万円）	3,503	4,072	4,179

回次	第32期 第2四半期 連結会計期間	第33期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成23年7月1日 至平成23年9月30日	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 （円）	17.09	10.33

- （注） 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要等が見込まれる一方で、欧州債務問題の深刻化に加え、好調であった新興国の成長鈍化、長期化する円高による輸出への悪影響等、依然として不透明な状況が続いております。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、顧客のIT投資に対する慎重なスタンスは続いておりますが、スマートフォンやタブレット端末関連、クラウドサービス関連など、堅調な分野も見られました。

このような経営環境下、当社グループは「情報通信コンサルタント」として企業経営を支援する集団となり、「情報通信コンサルティング業」という新しいマーケットの確立を目指し、経営支援サービスである「アイコン」に一段と注力し、情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングや独自の海外進出ノウハウによる経営コンサルティングなどのサービスを提供することで差別化を図り、顧客企業との関係強化に取り組んでおります。

このような環境のもと当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は以下のようになりました。

売上高は前年同期に比べ535百万円増加し、17,102百万円（前年同期比3.2%増）となりました。フォーバルテレコムを中核としたビジネスグループの売上が一部事業を譲渡した影響もあり前年同期に比べ688百万円減少したものの、フォーバルを中核としたビジネスグループの売上が「アイコン」の拡大とそれに伴う相乗効果によりセキュリティ関連の売上が拡大したことで前年同期に比べ678百万円、モバイルショップビジネスグループの売上がスマートフォン関連が好調に推移したことで前年同期に比べ523百万円増加したことが要因です。

利益面では「アイコン」等が順調に拡大したことで利益率が改善したことも加わって売上総利益が前年同期比274百万円増加（同5.8%増加）しました。一方で販売費及び一般管理費は事業拡大に伴う人件費の増加等があったものの事務所再編等による地代家賃の減少やのれんの償却費の減少により前年同期比85百万円の増加（同1.9%増加）にとどまったことで、営業利益は485百万円（同63.8%増）、経常利益は525百万円（同72.1%増）となりました。

また、税金費用の増加等により四半期純利益は217百万円（同7.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### <フォーバルビジネスグループ>

売上高は7,458百万円（前年同期比10.0%増）、セグメント利益は265百万円（前年同期比65.3%増）となりました。

#### <フォーバルテレコムビジネスグループ>

売上高は5,425百万円（前年同期比11.3%減）、セグメント利益は183百万円（前年同期比41.6%増）となりました。

#### <モバイルショップビジネスグループ>

売上高は4,047百万円（前年同期比14.9%増）、セグメント利益は71百万円（前年同期比13.5%減）となりました。

#### <その他事業グループ>

売上高は170百万円（前年同期比15.3%増）、セグメント利益は17百万円（前年同期比266.5%増）となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は4,072百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円の減少となっております。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は679百万円（前年同期比90.7%増）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が449百万円、売上債権の減少による資金の増加が1,238百万円あったのに対し、仕入債務の減少による資金の減少が1,064百万円あったことによるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は121百万円（前年同期比13.3%増）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が92百万円、無形固定資産の取得による支出が43百万円、差入保証金の差入による支出が74百万円あったのに対し、事業譲渡による収入が50百万円、差入保証金の回収による収入が29百万円あったことによるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は666百万円（前年同期比10.3%増）となりました。これは主として配当金の支払額が201百万円、社債の償還による支出が200百万円、短期借入金の純減少額が71百万円、長期借入金の返済による支出が142百万円あったことによるものです。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

当社グループは、外部メーカー製品を中心に販売しており、新技術の開発等の研究開発活動は行っていません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

###### ②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,866,311	13,866,311	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	13,866,311	13,866,311	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	—	13,866,311	—	4,150,294	—	17,205



## (6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (百株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
有限会社エス・エヌ・ケー	東京都港区西新橋1丁目17番10号	34,683	25.0
大久保 秀夫	東京都世田谷区	17,104	12.3
大久保 洋子	東京都世田谷区	7,850	5.6
株式会社ジャスト	埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目463	6,943	5.0
株式会社光通信	東京都豊島区西池袋1丁目4番10号	6,069	4.3
フォーバル社員持株会	東京都渋谷区神宮前5丁目52番2号	4,919	3.5
オリックス株式会社	東京都港区浜松町2丁目4番1号	2,400	1.7
株式会社高文	東京都千代田区内神田3丁目4番8号	1,351	0.9
北地 留数	奈良県生駒市	1,280	0.9
キャノンマーケティングジャパ ン株式会社	東京都港区港南2丁目16番6号	1,200	0.8
計	—	83,799	60.4

(注) 1. 所有株式数は、百株未満を切り捨てて記載しております。

2. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第2位以下を切り捨てて記載しております。

3. 上記のほか、自己株式が3,031百株あります。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 303,100	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 13,561,000	135,610	—
単元未満株式 (注)	普通株式 2,211	—	1 単元 (100株) 未満の株式
発行済株式総数	13,866,311	—	—
総株主の議決権	—	135,610	—

(注) 単元未満株式の株式数には、自己株式47株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
株式会社フォーバル	東京都渋谷区神宮前5丁目52番2号	303,100	—	303,100	2.18
計	—	303,100	—	303,100	2.18

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,196,048	4,089,093
受取手形及び売掛金	4,940,766	3,699,817
商品及び製品	511,313	550,270
仕掛品	37,410	57,520
原材料及び貯蔵品	9,043	8,390
その他	1,718,594	1,437,459
貸倒引当金	△58,247	△58,927
流動資産合計	11,354,930	9,783,624
固定資産		
有形固定資産	974,802	1,023,520
無形固定資産		
のれん	626,805	543,929
その他	204,528	189,128
無形固定資産合計	831,333	733,057
投資その他の資産		
投資有価証券	2,164,645	2,374,095
その他	1,302,082	1,256,728
貸倒引当金	△405,861	△392,861
投資その他の資産合計	3,060,866	3,237,962
固定資産合計	4,867,001	4,994,540
繰延資産	2,352	1,134
資産合計	16,224,284	14,779,299
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,330,417	3,267,424
短期借入金	567,051	494,297
未払金	1,285,457	1,142,430
未払法人税等	124,128	185,594
賞与引当金	337,319	282,711
役員賞与引当金	65,000	33,750
その他	1,103,800	1,265,490
流動負債合計	7,813,174	6,671,698
固定負債		
社債	300,000	—
長期借入金	436,023	294,689
退職給付引当金	1,572,888	1,611,440
その他	279,110	237,964
固定負債合計	2,588,021	2,144,093

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債合計	10,401,195	8,815,792
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,488,479	2,488,479
利益剰余金	△2,144,398	△2,129,976
自己株式	△101,663	△101,663
株主資本合計	4,392,712	4,407,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	973,175	1,107,326
為替換算調整勘定	△1,883	△4,321
その他の包括利益累計額合計	971,292	1,103,005
新株予約権	855	2,944
少数株主持分	458,228	450,423
純資産合計	5,823,088	5,963,507
負債純資産合計	16,224,284	14,779,299

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	16,566,987	17,102,454
売上原価	11,817,978	12,079,268
売上総利益	4,749,009	5,023,185
販売費及び一般管理費	* 4,452,810	* 4,537,865
営業利益	296,199	485,320
営業外収益		
受取利息	2,171	2,270
受取配当金	24,186	26,362
持分法による投資利益	—	1,765
貸倒引当金戻入額	12,350	17,643
その他	14,351	20,771
営業外収益合計	53,059	68,812
営業外費用		
支払利息	16,913	11,955
持分法による投資損失	17,934	—
投資事業組合運用損	1,319	9,959
その他	7,462	6,290
営業外費用合計	43,630	28,205
経常利益	305,628	525,927
特別利益		
投資有価証券売却益	0	1,420
固定資産売却益	3,605	—
資産除去債務消滅益	—	3,109
その他	1,403	200
特別利益合計	5,009	4,729
特別損失		
固定資産除売却損	2,898	6,895
訴訟関連損失	—	60,000
その他	9,071	14,466
特別損失合計	11,970	81,361
税金等調整前四半期純利益	298,667	449,295
法人税、住民税及び事業税	65,625	183,647
法人税等調整額	864	24,030
法人税等合計	66,489	207,678
少数株主損益調整前四半期純利益	232,178	241,616
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△4,324	23,747
四半期純利益	236,502	217,869

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	232,178	241,616
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	104,340	134,219
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,026	△2,437
その他の包括利益合計	103,314	131,781
四半期包括利益	335,492	373,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	339,910	349,582
少数株主に係る四半期包括利益	△4,418	23,816

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	298,667	449,295
減価償却費	172,527	126,473
のれん償却額	89,842	82,876
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,901	△13,666
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,725	△20,837
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,750	△31,250
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22,769	38,551
受取利息及び受取配当金	△26,358	△28,632
支払利息	16,913	11,955
持分法による投資損益 (△は益)	17,934	△1,765
投資有価証券売却損益 (△は益)	5,435	△935
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,975	1,942
固定資産除売却損益 (△は益)	△707	6,895
売上債権の増減額 (△は増加)	515,046	1,238,919
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△195,822	△52,977
仕入債務の増減額 (△は減少)	△347,956	△1,064,911
未払金の増減額 (△は減少)	52,883	△136,461
その他	△135,433	139,141
小計	461,341	744,613
利息及び配当金の受取額	26,489	28,792
利息の支払額	△15,564	△11,699
法人税等の支払額	△116,110	△82,665
営業活動によるキャッシュ・フロー	356,156	679,040
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△83,115	△92,262
有形固定資産の売却による収入	20,852	0
無形固定資産の取得による支出	△51,308	△43,669
無形固定資産の売却による収入	54	—
投資有価証券の取得による支出	△53,517	△23,787
投資有価証券の売却による収入	1,447	5,453
貸付けによる支出	△7,000	—
貸付金の回収による収入	55,663	16,823
差入保証金の差入による支出	△29,882	△74,701
差入保証金の回収による収入	43,010	29,216
事業譲渡による収入	—	50,000
その他	△3,365	11,486
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107,161	△121,441



(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△400,000	△71,950
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△157,097	△142,137
社債の償還による支出	—	△200,000
配当金の支払額	△201,223	△201,678
少数株主への配当金の支払額	△33,537	△32,868
その他	△12,397	△17,887
財務活動によるキャッシュ・フロー	△604,255	△666,520
現金及び現金同等物に係る換算差額	△214	△326
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△355,475	△109,248
現金及び現金同等物の期首残高	3,858,654	4,179,048
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	2,293
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 3,503,179	* 4,072,093

**【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】**

(連結の範囲の重要な変更)

株式会社F R S ファシリティーズは、重要性が増したため当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

**【会計方針の変更等】**

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による影響額は軽微であります。

**【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】**

該当事項はありません。

**【注記事項】**

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
貸倒引当金繰入額	25,617千円	18,215千円
従業員給与及び手当	2,100,286千円	2,224,718千円
賞与引当金繰入額	173,571千円	216,473千円
役員賞与引当金繰入額	29,625千円	31,490千円
退職給付費用	159,537千円	170,215千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	3,520,179千円	4,089,093千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△17,000千円	△17,000千円
現金及び現金同等物	3,503,179千円	4,072,093千円

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	203,453	15.00	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	203,447	15.00	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,780,869	6,114,297	3,523,633	16,418,799	148,187	16,566,987
セグメント間の内部売上 高又は振替高	445,199	506,365	28,740	980,304	15,455	995,760
計	7,226,068	6,620,663	3,552,373	17,399,104	163,643	17,562,748
セグメント利益	160,582	129,907	82,740	373,230	4,890	378,120

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	373,230
「その他」の区分の利益	4,890
セグメント間取引消去	△13,512
のれん償却額	△73,542
棚卸資産調整額	5,133
四半期連結損益計算書の営業利益	296,199

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	モバイル ショップ ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,458,899	5,425,635	4,047,077	16,931,612	170,841	17,102,454
セグメント間の内部売上 高又は振替高	336,902	477,732	18,040	832,674	10,530	843,205
計	7,795,802	5,903,367	4,065,117	17,764,287	181,371	17,945,659
セグメント利益	265,479	183,964	71,543	520,987	17,920	538,908

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	520,987
「その他」の区分の利益	17,920
セグメント間取引消去	△3,047
のれん償却額	△50,540
棚卸資産調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	485,320

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	17円44銭	16円6銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	236,502	217,869
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	236,502	217,869
普通株式の期中平均株式数(千株)	13,563	13,563
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月 8 日

株式会社フォーバル

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 加藤 善孝 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 須永 真樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバル及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。